

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/01/08

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.69	0.18
JPY/THB	0.2398	0.0012
USD/JPY	144.63	0.00
EUR/THB	37.96	0.18
EUR/USD	1.0943	-0.0002
USD/CNH	7.163	-0.013
SGD/THB	26.10	0.13
AUD/THB	23.29	0.13
USD/INR	83.16	-0.07
USD Index	102.41	-0.01

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.493	0.015
10Y (THB)	2.789	0.046
5Y (USD)	4.007	0.027
10Y (USD)	4.046	0.047

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,049.8	-0.2
WTI (Oil)	73.81	1.62
Copper	8,463.0	-3.5

Stock

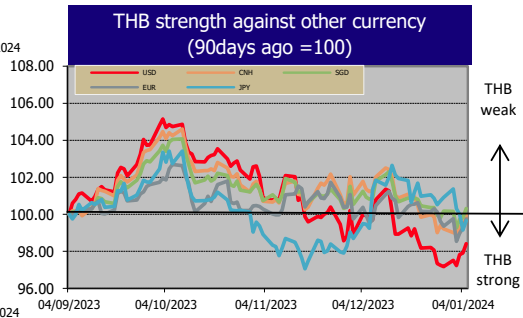
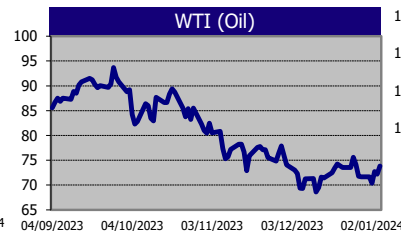
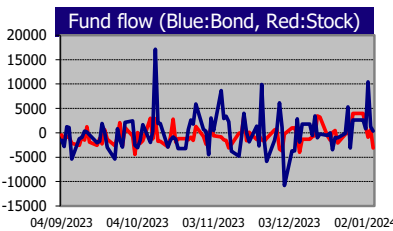
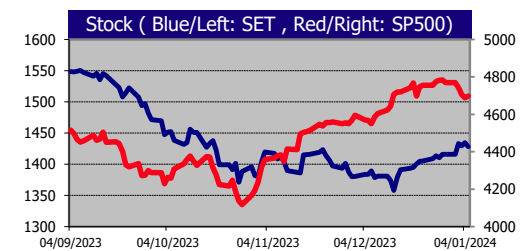
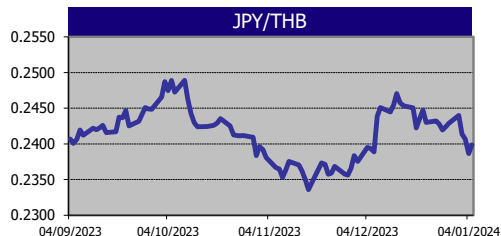
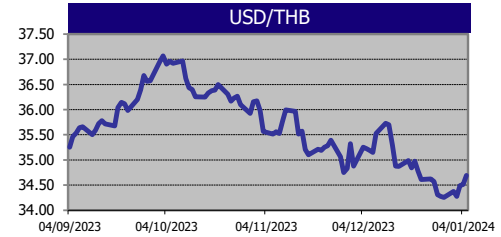
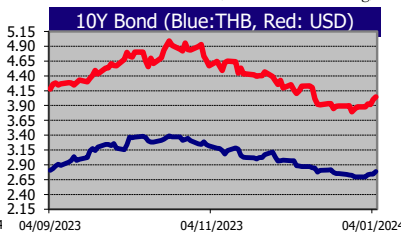
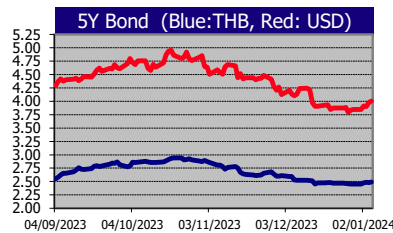
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,427.96	-6.63
NIKKEI (JP)	33,377.42	89.13
DOW (US)	37,466.11	25.77
S&P500 (US)	4,697.24	8.56
SHCOMP (CN)	2,929.18	-25.17
DAX(GER)	16,594.21	-23.08

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,096)	-3746.9
Bond net flow	356	-864.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

5日のドルパーツは小幅に上昇。34パーツ台半ばで取引を開始。前日発表された米労働関連指標が良好だったため、夜間に発表される米12月雇用統計への警戒感から、オンショア時間ではドル買い優勢で34パーツ台後半に上昇。海外時間、注目の同指標は前月分が下方修正されたものの、雇用者数変化、失業率、平均賃金の伸び共に良好な結果。しかし、その後発表されたISM非製造業景況指数が大きく予想を下回り、雇用や新規受注の弱さが目立つ内容だったため、ドルパーツは上下に振れたものの、結局34.69レベルで終えた。

●ドル円その他

5日のドル円は、144円台後半で取引を開始。株式市場の堅調な推移を横目にドル円は底堅く推移。アジア時間終盤には145円台を付けた。海外時間、米12月雇用統計は米労働市場が依然堅調さを維持していると意識させる結果だったため、145円台後半まで急伸。しかし、その後発表されたISM非製造業景況指数が予想を下回ると短期ゾーン中心に米金利低下。ドル円は143円台後半まで反落したが、米金利が終盤に下げ幅を縮小したため、前日比変わらずの144.63まで戻して終えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週末に発表された米12月雇用統計は、非農業部門雇用者数変化が216千人(予175千人)、失業率は3.7%(予3.8%)、平均時給+0.4%(予0.3%)と揃って市場予想よりも良好な結果となりました。利下げ議論の進展が見られなかった3日公表のFOMC議事要旨にはじまり、4日のADP雇用統計や新規失業保険申請件数も強めだったため、5日の雇用統計がドル買いにダメ押しかというような状況でしたが、同日発表されたISM非製造業景況指数が弱く、ドルインデックスは上下に振れたものの、ほぼ変わらず。結果としてドルパーツもオンショア市場の高値より若干下げて越過となっています。特にISM非製造業景況指数の構成項目の内、雇用指数はパンデミック第1波とほぼ同時期の2020年7月と同水準まで落ち込んでおり、強弱入り混じる労働市場の数字を見て、FRBは難しい判断が求められる2024年のスタートを切ったのでは無いかと思われます。今週末米12月CPIとPPIが発表されますので、結果により年末まで進んでいた米金利の巻き戻しが進む場合、引き続きドルパーツは底堅い地合いとなる考えられます。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.